

工 事 成 績 採 点 の 考 査 項 目 別 運 用 表

令和8年4月

名 古 屋 市 交 通 局

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(監督員1/11)

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	施工体制が優れている [評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 作業の分担の範囲が、下請業者を含め、書面に明確に記載されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 品質管理体制が、書面に適切に記載されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 安全管理体制が、書面に適切に記載されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 現場の施工体制(品質管理、安全管理を含む)が、書面と一致している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 元請業者が、下請業者の施工結果を十分に検査している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 現場における施工体制に対し、本支店等による十分な支援体制を整え実施している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 その他()	施工体制が良好である	施工体制が適切である	施工体制がやや不適切である	施工体制が不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当あれば………d <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当あれば………e
	II. 配置技術者 (現場代理人等)	a 配置技術者として優れている	b 配置技術者として良好である	c 配置技術者として適切である	d 配置技術者としてやや不適切である	e 配置技術者として不適切である
	土木工事 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 現場代理人として、工事全体の把握ができています。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 現場代理人として、監督員への報告、協議等を書面で行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 工事請負契約約款第17条(条件変更等)第1項(以下、「契約約款第17条」という。)に基づく設計図書の照査を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 書類及び資料が適切に整理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 施工体制、施工状況を把握し、下請け、部下等をよく指導している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 施工等に伴う提案又は工夫をもって工事を進めている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12 「施工プロセス」チェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 13 その他()				<input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当あれば………d <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当あれば………e
		評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上………a 該当項目が80%以上90%未満………b 該当項目が60%以上80%未満………c 該当項目が60%未満………d				① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100
		評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上………a 該当項目が80%以上90%未満………b 該当項目が60%以上80%未満………c 該当項目が60%未満………d				① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(監督員2/11)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	施工管理が優れている	施工管理が良好である	施工管理が適切である	施工管理がやや不適切である	施工管理が不適切である
	土木工事 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 契約約款第17条に基づく設計図書の見直し結果について、協議を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載がある。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 施工計画書に基づき、日常の出来形・品質の管理を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく、調整が十分に図られている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 工事打合せ等の工事記録の整備が、適時に行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 一工程の施工の検査・確認の報告が、適時に行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 現場内での整理整頓が、日常的に行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 使用する材料・機材の調達計画及び搬入後の管理が適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12 材料・機材の品質証明書及び写真等を整理している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 13 社内検査が計画的に行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 14 独自のチェックリスト等の管理基準により、管理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 15 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 16 建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが、適切に行われている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 17 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 18 その他()				<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示を行った。 上記該当あれば………d <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当あれば………e
	II. 工程管理	a	b	c	d	e
		工程管理が優れている	工程管理が良好である	工程管理が適切である	工程管理がやや不適切である	工程管理が不適切である
	土木工事 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 実施工程表が工事着手前に提出され、関連工事との調整も適切に行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 工程のフォローアップを実施し、受注者の責により関連工事及び局施設等に対し、影響を及ぼす工程の遅れがない。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 受注者の責による夜間や休日の作業がない。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 休日・代休の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 近隣住民(局施設等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 「施工プロセス」チェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 その他()				<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示を行った。 上記該当あれば………d <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当あれば………e
		評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が60%以上80%未満…c 該当項目が60%未満……………d		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100		

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(監督員3/11)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	安全対策が優れている	安全対策が良好である	安全対策が適切である	安全対策がやや不適切である	安全対策が不適切である
	土木工事 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 現場の各工程において適時適切に、安全管理の措置をしている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 仮設工事において、設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12 工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 13 過積載防止に十分に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 14 「施工プロセス」チェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 15 その他()			<input type="checkbox"/> 安全対策に関して、法令遵守の措置内容に該当する場合。 上記該当あれば………c <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当あれば………d <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当あれば………e	
		評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上………a 該当項目が80%以上90%未満……b 該当項目が60%以上80%未満……c 該当項目が60%未満………d	① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100			
	Ⅳ. 対外関係	対外関係が優れている	対外関係が良好である	対外関係が適切である	対外関係がやや不適切である	対外関係が不適切である
	土木工事 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生がない。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 工事施工にあたり、近隣住民(局施設等を含む)と適切に協議及び調整を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 引渡し時に局施設に対し、保守管理について適切な説明を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分りやすく周知している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 近隣住民(局施設等を含む)対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 現場のイメージアップに、取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 「施工プロセス」チェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施された。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 その他()			<input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当あれば………d <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当あれば………e	
		評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上………a 該当項目が80%以上90%未満……b 該当項目が60%以上80%未満……c 該当項目が60%未満………d	① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100			

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(監督員4/11)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	土木工事 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	出来形が優れている	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 承諾図・施工図等が、設計図書を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 出来形の管理方法を工夫している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 撤去対象物の範囲等が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 その他()</p> <p>※ 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。</p> <p>評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が60%以上80%未満…c 該当項目が60%未満……………d</p>				<p><input type="checkbox"/> 出来形に関して、監督員から文書による改善指示を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば……………d</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第16条に基づき監督員が改造請求を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば……………e</p>	
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100</p>					
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート 構造物工事	品質が優れている	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		<p>[評価対象項目] (躯体工事)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12 スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 13 有害なクラックが無い。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 14 廃棄物の分別、再資源化に努め、適切な処分をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 15 その他</p> <p>評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が60%以上80%未満…c 該当項目が60%未満……………d</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質に関して、監督員から文書による改善指示を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば……………d</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第16条に基づき監督員が改造請求を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば……………e</p>	
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100</p>					

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(監督員5/11)

考 査 項 目	工 種	a 品質が優れている	b 品質が良好である	c 品質が適切である	d 品質がやや不適切である	e 品質が不適切である	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	舗装工事	<p style="text-align: center;">【評価対象項目】</p> <p style="text-align: center;">【路床・路盤工関係】</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 その他 <p style="text-align: center;">【アスファルト舗装工関係】</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 13 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 14 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 15 アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 16 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 17 その他 <p style="text-align: center;">【コンクリート舗装工関係】</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 18 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 19 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 20 コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 21 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 22 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 23 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 24 チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 25 その他 <p style="text-align: center;">【ブロック舗装工関係】</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 26 ブロックの色彩・パターンについて整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 27 ブロックの目地の処理が定められた通りであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 28 局所部分についてはブロックと同等の方法で処理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 29 その他 <p style="text-align: center;">【共通】</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 30 廃棄物の分別、再資源化に努め、適切な処分をしている。				<input type="checkbox"/> 品質に関して、監督員から文書による改善指示を行った。 上記該当あれば………d <input type="checkbox"/> 契約約款第16条に基づき監督員が改造請求を行った。 上記該当あれば………e	
		評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が60%以上80%未満…c 該当項目が60%未満……………d		① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100			

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(監督員6/11)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	軌道・構築 保守工事	品質が優れている	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 仕様書で定められている品質管理が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 材料の品質規格証明書が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 仕様書に定められている検査が所定どおり実施され、精度の確認がされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 材料が適切に管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 仕上がりが許容値内で適切に施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 既設構造物への配慮がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 廃棄物の分別、再資源化に努め、適切な処分をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 その他()</p> <p>評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が60%以上80%未満…c 該当項目が60%未満……………d</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質に関して、監督員から文書による改善指示を行った。</p> <p>上記該当あれば……………d</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第16条に基づき監督員が改造請求を行った。</p> <p>上記該当あれば……………e</p>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> ① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100 </div>						
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	建築工事	品質が優れている	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 品質確認記録の内容が、適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 施工の各段階における完了時の、品質が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 躯体工事における施工の品質が、良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 廃棄物の分別、再資源化に努め、適切な処分をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 その他()</p> <p>※ 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。</p> <p>評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が60%以上80%未満…c 該当項目が60%未満……………d</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質に関して、監督員から文書による改善指示を行った。</p> <p>上記該当あれば……………d</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第16条に基づき監督員が改造請求を行った。</p> <p>上記該当あれば……………e</p>
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> ① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100 </div>						

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(監督員7/11)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	電気設備工事	品質が優れている	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 機材の品質が承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 品質確認記録の内容が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 施工の各段階における試験及び記録が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 施工の品質が良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 不可視部分となる品質確認のための工事写真等が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 廃棄物の分別、再資源化に努め、適切な処分をしている。</p> <p>※ 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。</p> <p>評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が60%以上80%未満…c 該当項目が60%未満……………d</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質に関して、監督員から文書による改善指示を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば……………d</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第16条に基づき監督員が改造請求を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば……………e</p>	
<p>① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100</p>							
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	機械設備工事	品質が優れている	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 機材の品質が承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 品質確認記録の内容が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 施工の各段階における試験及び記録が適切である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 施工の品質が良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 不可視部分となる品質確認のための工事写真等が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 廃棄物の分別、再資源化に努め、適切な処分をしている。</p> <p>※ 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。</p> <p>評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が60%以上80%未満…c 該当項目が60%未満……………d</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質に関して、監督員から文書による改善指示を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば……………d</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第16条に基づき監督員が改造請求を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば……………e</p>	
<p>① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100</p>							

工事成績採点の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入し、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

(監督員8/11)

考査項目	細 別	評価対象項目	詳細評価内容
5. 創意工夫 土木工事	■施工関係	<input type="checkbox"/> 1 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 2 コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 3 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 4 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 5 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 6 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 7 照明などの視界の確保に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 8 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 9 運搬車両、施工機械等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 10 支保工、型枠工、足場工、仮橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 11 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 12 施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 13 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 14 施工管理ソフト、土量管理システム等の活用に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 15 ICT（情報通信技術）を活用した情報化施工を取り入れた工事。 <input type="checkbox"/> 16 特殊な工法や材料を用いた工事。 <input type="checkbox"/> 17 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。	
	■品質関係	<input type="checkbox"/> 18 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 19 コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 20 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 21 配筋、溶接作業等に関する工夫。	
	■安全衛生関係	<input type="checkbox"/> 22 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 ※本項目は2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 23 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。 (落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) <input type="checkbox"/> 24 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 25 現場事務所、労務者宿舍等の空間及び設備等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 26 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 27 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 28 厳しい作業環境の改善に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 29 環境保全に関する工夫。	

工事成績採点の考査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入し、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

(監督員9/11)

考査項目	細 別	評価対象項目	詳細評価内容
5. 創意工夫 土木工事	■新技術活用	<p>「新技術活用」においては、以下の3項目により、複数の技術の評価を可能とするが、最大2点の加点とする。</p> <p>以下の項目の評価にあたっては、活用効果調査表の提出が不要な場合を除き、発注者及び受注者の双方による全ての活用効果調査表、新技術活用計画書、実施報告書等を確認した上で評価する。ただし、加点対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加点措置を行わないものとする。</p> <p><input type="checkbox"/> 30 (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。(2点)</p> <p><input type="checkbox"/> 31 (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。(1点)</p> <p><input type="checkbox"/> 32 (該当技術数:) NETIS登録技術のうち事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。(1点)</p> <p>・ここで「有用とされる技術」とは、「公共工事等における新技術活用システム」実施要領で定める「活用促進技術」、「推奨技術」、「準推奨技術」、「評価促進技術」等をいう。</p> <p>・複数の技術の評価にあたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、最大2点の加点とする。複数の技術が同一の評価項目に該当した場合、該当技術数に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価の点数とするが、この場合も最大2点の加点とする。</p>	
	■その他	<p><input type="checkbox"/> 33 その他(理由:)</p> <p><input type="checkbox"/> 34 その他(理由:)</p> <p><input type="checkbox"/> 35 その他(理由:)</p> <p><input type="checkbox"/> 36 その他(理由:)</p> <p><input type="checkbox"/> 37 その他(理由:)</p> <p><input type="checkbox"/> 38 その他(理由:)</p> <p><input type="checkbox"/> 39 その他(理由:)</p>	
	<p>評点計: 点</p> <p>・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。</p> <p>・評価は各項目において1つレ点が付されれば1、2、3点で評価し、最大7点の加点評価とする。</p> <p>・該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。</p> <p>・上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、■その他に具体的内容を記載して加点する。</p> <p>・主任監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。</p> <p>・評価した内容を詳細評価欄に記載する。</p>		

工事成績採点の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入し、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

(監督員10/11)

考査項目	細別	評価対象項目	詳細評価内容
5. 創意工夫 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	■準備・後片づけ関係	<input type="checkbox"/> 1 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 2 現地調査方法の工夫 <input type="checkbox"/> 3 その他※2(理由:)	
	■施工関係	<input type="checkbox"/> 4 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫 <input type="checkbox"/> 5 工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取組み <input type="checkbox"/> 6 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 7 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫 <input type="checkbox"/> 8 電気設備工事等の配線、配管等の工夫 <input type="checkbox"/> 9 暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫 <input type="checkbox"/> 10 照明・視界確保等の工夫 <input type="checkbox"/> 11 仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫 <input type="checkbox"/> 12 運搬車両・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 13 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫 <input type="checkbox"/> 14 施工管理及び品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> 15 プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫 <input type="checkbox"/> 16 仮設施工等の工夫 <input type="checkbox"/> 17 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫 <input type="checkbox"/> 18 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> 19 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> 20 その他※2(理由:)	
	■品質関係	<input type="checkbox"/> 21 集計ソフト等の活用と工夫 <input type="checkbox"/> 22 躯体工事の品質管理の工夫 <input type="checkbox"/> 23 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 24 施工の検査・試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 25 品質記録方法の工夫 <input type="checkbox"/> 26 その他※2(理由:)	
	■安全衛生関係	<input type="checkbox"/> 27 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) <input type="checkbox"/> 28 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 29 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫 <input type="checkbox"/> 30 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 31 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 32 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 <input type="checkbox"/> 33 作業時における作業環境改善等の工夫 <input type="checkbox"/> 34 ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> 35 その他※2(理由:)	
	■施工管理関係	<input type="checkbox"/> 36 出来形の管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 37 施工計画書または写真記録等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 38 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 <input type="checkbox"/> 39 C A D、施工管理ソフト等の活用 <input type="checkbox"/> 40 施工合理化技術(※1)を活用した施工管理の工夫 <input type="checkbox"/> 41 その他(理由:)	

工事成績採点の考査項目別運用表

(監督員11/11)

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入し、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

考査項目	細 別	評価対象項目	詳細評価内容
5. 創意工夫 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	■その他	<p><新技術活用> 新技術に関する下記5項目での加点は最大3点とする。 以下の項目の評価にあたっては、活用効果調査表の提出が不要な場合を除き、発注者及び受注者の双方による全ての活用効果調査表、新技術活用計画書、実施報告書等を確認した上で評価する。ただし、加対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加措置を行わないものとする。</p> <p><input type="checkbox"/> 42 (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。(3点)</p> <p><input type="checkbox"/> 43 (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。(2点)</p> <p><input type="checkbox"/> 44 (該当技術数:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が従来技術と同程度である。(1点)</p> <p><input type="checkbox"/> 45 (該当技術数:) NETIS登録技術のうち事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。(2点)</p> <p><input type="checkbox"/> 46 (該当技術数:) NETIS登録技術のうち事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。(1点)</p> <p>・ここで「有用とされる技術」とは、「公共工事等における新技術活用システム」実施要領で定める「活用促進技術」、「推奨技術」、「準推奨技術」、「評価促進技術」等をいう。</p> <p>・複数の技術の評価にあたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、最大3点の加点とする。複数の技術が同一の評価項目に該当した場合、該当技術数に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価の点数とするが、この場合も最大3点の加点とする。</p> <p><その他></p> <p><input type="checkbox"/> 47 その他※2(理由:)</p>	
	<p>評点計: 点</p> <p>・特に評価すべき創意工夫事例を加評価する。</p> <p>・該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、項目により1、2、3点で評価し、最大7点の加評価とする。</p> <p>・主任監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。</p> <p>・評価した内容を詳細評価欄に記載する。</p> <p>※1. 施工合理化技術(プレハブ化、ユニット化、自動化施工(ICT施工、ロボット活用等)、BIM、ASP等を活用したもので施工の合理化に資するものに限る。)を採用した場合。</p> <p>※2. その他欄には、上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、具体的内容を記載して加点する。</p> <p>また、考査項目「創意工夫」の「■準備片付け関係」から「■安全衛生関係」までの4つの細別ごとに、施工合理化技術を活用して効果があった場合に、その他の理由に具体的内容を記載して加点する。さらに、当該技術がNETIS登録技術である場合は、「■その他」<新技術活用>の項目に追加で加点できるものとする。</p>		
8. その他		<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	
<p>評点計: 点</p> <p>・別に要綱等で評価点の加点を定めたときに評価とする。</p>			

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(主任監督員1/5)

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	工程管理が優れている	工程管理が良好である	工程管理が適切である	工程管理がやや不適切である	工程管理が不適切である
	土木工事 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 工程管理を適切に行なったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 その他加点(理由: _____) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 その他減点(理由: _____)				
	Ⅲ. 安全対策	安全対策が優れている	安全対策が良好である	安全対策が適切である	安全対策がやや不適切である	安全対策が不適切である
	土木工事 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 その他加点(理由: _____) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 その他減点(理由: _____)				

・主任監督員は、監督員の意見を参考に総合的な評価を行う。

・評価に当たっては評価対象項目のレ点の数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。

・地域への貢献等とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(主任監督員2/5)

考 査 項 目	細 別	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	地域への貢献が優れている	地域への貢献がやや優れている	地域への貢献が良好である	地域への貢献がやや良好である	他の評価に該当しない
	土木工事 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	<div style="padding-left: 20px;"> <input type="checkbox"/> 1 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 2 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 3 定期的に応報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 4 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 5 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 6 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。 <input type="checkbox"/> 7 その他 </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">※上記該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c評価を行う。</p>				
		詳細評価内容:				

- ・主任監督員は、監督員の意見を参考に総合的な評価を行う。
- ・評価に当たっては評価対象項目のレ点の数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。
- ・地域への貢献等とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。
- ・レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(主任監督員3/5)

考 査 項 目	法 令 遵 守 等 の 該 当 項 目 一 覧 表	
7. 法令遵守等	該 当 項 目	
	点 数	
	<input type="checkbox"/> 1. 指名停止3ヶ月以上	-20点
	<input type="checkbox"/> 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点
	<input type="checkbox"/> 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点
	<input type="checkbox"/> 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点
	<input type="checkbox"/> 5. 文書注意	-8点
	<input type="checkbox"/> 6. 総合評価落札方式において、配置予定技術者が、やむを得ない理由(※1)以外で交代	-8点
	<input type="checkbox"/> 7. 口頭注意	-5点
	<input type="checkbox"/> 8. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合(不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。)	-3点
	<input type="checkbox"/> 9. (IV型)総合評価落札方式において、地元企業の下請活用が不履行	-3点
<input type="checkbox"/> 10. (標準型・簡易型)総合評価落札方式において、契約履行者の責により提案を満足する施工が行われなかった	(※2)点	
<input type="checkbox"/> 項目該当なし		
<p>(※1) 死亡、傷病、出産、育児、介護、退職、受注者の責によらない工期延長等</p> <p>(※2) 減点数 = $-8 \times (1 + (\text{不履行数} - 1) \div (\text{有効提案数} - 1))$ 小数点以下四捨五入とする。有効提案数、不履行数ともに1の場合、減点数=-8とする。</p> <p>① 本評価項目で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。</p> <p>② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。</p> <p>④ 複数選択可とし、-20点を下限として減点数を合計する。</p> <p>(上記で評価する場合の適応事例)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 3. 労働者の寄宿舎環境等について労働基準法上違反があり、送検等された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。 6. 建設業法に違反する事実が判明した 例)一括下請負、技術者の専任違反等 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記載されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 14. 受注企業及び下請け等が暴力団員等による不当介入を受けたが警察等への通報等を怠った。 15. 安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 16. 引渡し後に事故等が発生し、受注者の責による重大な瑕疵が判明した。 17. 低コスト調査で虚偽の報告があった。 18. 受注者の責により工期内に工事を完成出来なかった。 19. 発注者が、受注者が契約約款第6条の2前段に定める規定に違反していると認める場合又は、受注者が同条後段に定める書類を指定期限内に提出しなかった場合。 20. その他 (理由: _____) 		

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

(主任監督員4/5)

考査項目	細 別	評価対象項目	評価技術事例	詳細評価内容
4. 工事特性 土木工事	■構造物の特殊性への対応	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。 □ 1 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事	切土の土工量：20万m ³ 以上、盛土の土工量：15万m ³ 以上、護岸・築堤の平均高さ：10m以上、トンネル(シールド)の直径：8m以上、ダム用水門の設計水深：25m以上、樋門又は樋管の内空断面積：15m ² 以上、揚排水機場の吐出管径：2,000mm以上、堰又は水門の最大径間長：25m以上、堰又は水門の径間数：3径間以上、堰又は水門の扉体面積：50m ² /門以上、トンネル(開削工法)の開削深さ：20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積：100m ² 以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積：300m ² 以上、海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深：10m以上、地滑り防止工：幅100m以上かつ法長150m以上、浚渫工の浚渫土量：100万m ³ 以上、流路工の計画高水流量：500m ³ 以上、砂防ダムの堤高：15m以上、ダムの堤高：150m以上、転流トンネルの流下能力：400m ³ /s以上、橋梁下部工の高さ：30m以上、橋梁上部工の最大支間長：100m以上	
		□ 2 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事	・ 砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・ 鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・ 供用中の道路トンネルの拡幅工事。	
		□ 3 その他	・ その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事 ・ その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・ 地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。	
	■厳しい自然・地盤条件への対応	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。 □ 4 特殊な地盤条件への対応が必要な工事	・ 河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・ 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・ 施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要がある工事。	
		□ 5 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事	・ 海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・ 潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。	
		□ 6 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事	・ 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・ 斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・ 土石流危険渓流に指定された区域内における工事	
		□ 7 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事	・ イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事	
		□ 8 その他	・ その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・ その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事	
	■都市部等の作業環境、社会条件等への対応	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。 □ 9 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事	・ 供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・ 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・ 監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。	
		□ 10 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事	・ ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・ 地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 ・ そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。	
		□ 11 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事	・ 市街地での夜間工事。 ・ D1D地区での工事。	
		□ 12 現道上での交通規制に大きく影響する工事	・ 日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・ 供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・ 工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。	
		□ 13 緊急時に対応が特に必要な工事	・ 緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。	
		□ 14 施工箇所が広範囲にわたる工事	・ 作業現場が広範囲に分布している工事。	
	■長期工事における安全確保への対応	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。 □ 16 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く)	※但し、文書注意に至らない事故は除く。	
□ 17 その他				
<p>評 点：</p> <p>※・工事特性は、最大20点の加点評価とする。 ・監督員が評価する「5. 創意工夫」との二重評価はしない。 ・評価にあたっては、監督員の意見も参考に評価する。</p>				

工事成績採点の考査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入し、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

(主任監督員5/5)

考査項目	細 別	評価対象項目	評価技術事例	詳細評価内容
4. 工事特性 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	■建物規模への対応	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 □ 1 延べ面積10,000㎡以上の建物 □ 2 地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物 □ 3 大空間のホール等を有する建物 □ 4 その他(理由:)		
	■建物固有の難しさへの対応	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 □ 5 対象建物の耐震レベル □ 6 建物機能の特殊性 □ 7 その他(理由:)	・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事 ・電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物	
	■建物固有の施工技術の難しさへの対応	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 □ 8 建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合 【総合評価における技術提案は除く】 □ 9 設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性 □ 10 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合 □ 11 その他(理由:)	・パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・特殊な工法及び材料等を採用した工事 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・免震装置を設ける工事 ・大規模な山留め工法が必要な工事 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行う工事 ・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事	
	■厳しい自然・地盤条件への対応	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 □ 12 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時) □ 13 軟弱地盤、支持地盤の影響 □ 14 雨・雪・風・気温等の影響 □ 15 その他(理由:)	・地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備が必要な工事 ・液状化対策工法や地盤改良を伴う工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事	
	■厳しい周辺環境、社会条件への対応	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 □ 16 地中埋設物等の作業障害 □ 17 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物 □ 18 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 □ 19 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 □ 20 その他(理由:)	・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事 ・場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事 ・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事 ・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事	
	■施工現場での対応	※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とし、最大10点とする。 【長期工事における安全確保への対応】 □ 21 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事(ただし全面一時中止期間は除く) 【災害等での臨機の措置】 □ 22 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事 【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】 □ 23 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 □ 24 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 □ 25 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 □ 26 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の受注者が複数ある工事 □ 27 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 □ 28 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 □ 29 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事 □ 30 その他(理由:)		
<p>評 点 : 点</p> <p>※・工事特性は、最大20点の加点評価とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監督員が評価する「5. 創意工夫」との二重評価はしない。 ・評価にあたっては、監督員の意見も参考に評価する。 				

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(検査員1/7)

考査項目	細別	a	b	c	d	e		
2. 施工状況	I. 施工管理 土木工事 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	施工管理が優れている	施工管理が良好である	施工管理が適切である	施工管理がやや不適切である	施工管理が不適切である		
		<p>[評価対象項目]</p> <p>1 契約約款17条に基づく設計図書の照査結果を、適切に処理していることが確認できる。</p> <p>2 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。</p> <p>3 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できる。</p> <p>4 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。</p> <p>5 工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。</p> <p>6 使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。</p> <p>7 一工程の施工の確認の報告が、適切に行われていることが確認できる。</p> <p>8 建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが確認できる。</p> <p>9 社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できる。</p> <p>10 独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。</p> <p>11 工事関係書類及び資料整理がよい。</p> <p>12 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</p> <p>13 その他()</p>				<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員から文書による改善指示を行った。</p> <p>上記該当あれば………d</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p> <p>上記該当あれば………e</p>		
		<p>評価対象項目の合計のうち</p> <p>該当項目が90%以上……………a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満…b</p> <p>該当項目が60%以上80%未満…c</p> <p>該当項目が60%未満……………d</p>		<p>① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100</p>				
考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形 土木工事 建築工事 電気設備工事 機械設備工事	出来形が特に優れている	出来形が優れている	出来形が特に良好である	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
		<p>[評価対象項目]</p> <p>1 承諾図・施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>2 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。</p> <p>3 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。</p> <p>4 出来形の管理が、工夫されていることが確認できる。</p> <p>5 現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</p> <p>6 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。</p> <p>7 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p>8 撤去対象物の範囲等が確認できる。</p> <p>9 その他()</p>				<p><input type="checkbox"/> 出来形管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>上記該当あれば………d</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形が不適切であった為、契約約款第31条に基づく修補指示を検査員が行った。</p> <p>上記該当あれば………e</p>		
		<p>※ 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。</p>		<p>① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100</p>				
		<p>評価対象項目の合計のうち</p> <p>該当項目が90%以上……………a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満…a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満…b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満…b'</p> <p>該当項目が50%以上60%未満…c</p> <p>該当項目が50%未満……………d</p>						

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(検査員2/7)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
		品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート 構造物工事	[評価対象項目] (躯体工事)						<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば………d <input type="checkbox"/> 品質が不適切であった為、契約約款第31条に基づく修補指示を検査員が行った。 上記該当あれば………e	
Ⅱ. 品質		<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12 スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 13 有害なクラックが無い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 14 廃棄物の分別、再資源化に努め、適切な処分をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 15 その他	① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100						
		評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上………a 該当項目が80%以上90%未満……a' 該当項目が70%以上80%未満……b 該当項目が60%以上70%未満……b' 該当項目が50%以上60%未満……c 該当項目が50%未満………d							

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(検査員3/7)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	舗装工事	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
Ⅱ. 品質		<p>【評価対象項目】</p> <p>【路床・路盤工関係】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 その他</p> <p>【アスファルト舗装工関係】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 13 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 14 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 15 アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 16 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 17 その他</p> <p>【コンクリート舗装工関係】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 18 コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 19 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 20 コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 21 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 22 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 23 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 24 チェアー及びタイヤを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 25 その他</p> <p>【ブロック舗装工関係】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 26 ブロックの色彩・パターンについて整理・記録されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 27 ブロックの目地の処理が定められた通りであることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 28 局所部分についてはブロックと同等の方法で処理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 29 その他</p> <p>【共通】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 30 廃棄物の分別、再資源化に努め、適切な処分をしていることが確認できる。</p>						<p><input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば………d</p> <p><input type="checkbox"/> 品質が不適切であった為、契約約款第31条に基づく修補指示を検査員が行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば………e</p>	
		<p>評価対象項目の合計のうち</p> <p>該当項目が90%以上……………a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満…a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満…b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満…b'</p> <p>該当項目が50%以上60%未満…c</p> <p>該当項目が50%未満……………d</p>						<p>① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100</p>	

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(検査員4/7)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	軌道・構築 保守工事	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 仕様書で定められている品質管理が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 材料の品質規格証明書が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 仕様書に定められている検査が所定どおり実施され、精度の確認がされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 材料が適切に管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 仕上がりが許容値内で適切に施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 既設構造物への配慮がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 廃棄物の分別、再資源化に努め、適切な処分をしていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 その他()</p> <p>評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上.....a 該当項目が80%以上90%未満...a' 該当項目が70%以上80%未満...b 該当項目が60%以上70%未満...b' 該当項目が50%以上60%未満...c 該当項目が50%未満.....d</p>						<p><input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば.....d</p> <p><input type="checkbox"/> 品質が不適切であった為、契約約款第31条に基づく修補指示を検査員が行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば.....e</p>	
		<p>① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100</p>							
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	建築工事	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 その他の工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 廃棄物の分別、再資源化に努め、適切な処分をしていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12 その他()</p> <p>※ 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。</p> <p>評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上.....a 該当項目が80%以上90%未満...a' 該当項目が70%以上80%未満...b 該当項目が60%以上70%未満...b' 該当項目が50%以上60%未満...c 該当項目が50%未満.....d</p>						<p><input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば.....d</p> <p><input type="checkbox"/> 品質が不適切であった為、契約約款第31条に基づく修補指示を検査員が行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば.....e</p>	
		<p>① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100</p>							

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する。

(検査員5/7)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	電気設備工事	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 機材の品質が承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 施工の各段階における試験及び記録が適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 機材の品質確認記録の内容が適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 品質の確認結果が分かりやすく整理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 施工の品質が適切であり、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 施工の品質が試験や検査等の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 不可視部分となる品質が工事写真等により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 廃棄物の分別、再資源化に努め、適切な処分をしていることが確認できる。						<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば………d <input type="checkbox"/> 品質が不適切であった為、契約約款第31条に基づく修補指示を検査員が行った。 上記該当あれば………e	
		<p>※ 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。</p> <p>評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上………a 該当項目が80%以上90%未満……a' 該当項目が70%以上80%未満……b 該当項目が60%以上70%未満……b' 該当項目が50%以上60%未満……c 該当項目が50%未満………d</p>						<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100</p>	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	機械設備工事	品質が特に優れている	品質が優れている	品質が特に良好である	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である	
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 機材の品質が承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 施工の各段階における試験及び記録が適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 機材の品質確認記録の内容が適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 品質の確認結果が分かりやすく整理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 施工の品質が適切であり、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 施工の品質が試験や検査等の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 不可視部分となる品質が工事写真等により確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 廃棄物の分別、再資源化に努め、適切な処分をしていることが確認できる。						<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば………d <input type="checkbox"/> 品質が不適切であった為、契約約款第31条に基づく修補指示を検査員が行った。 上記該当あれば………e	
		<p>※ 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。</p> <p>評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上………a 該当項目が80%以上90%未満……a' 該当項目が70%以上80%未満……b 該当項目が60%以上70%未満……b' 該当項目が50%以上60%未満……c 該当項目が50%未満………d</p>						<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100</p>	

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(検査員6/7)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート 構造物工事	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1 コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 2 コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 4 クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 5 漏水が無い。 <input type="checkbox"/> 6 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 7 その他()			●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	舗装工事	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 2 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 3 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 4 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 5 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 6 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 7 その他()			●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	軌道・構築 保守工事	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 1 仕上げの均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 2 資料等から不可視部分の施工の良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 3 細部にわたるきめ細やかな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 4 既設部に対する配慮がある。 <input type="checkbox"/> 5 全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 6 その他()			●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d

工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] 評価対象項目とする場合は左口にレマークを記入し、評価する場合は右口にレマークを記入する

(検査員7/7)

考 査 項 目	工 種	a	b	c	d	
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	建築工事	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている	
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりにある。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 保全に配慮した施工がなされている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 その他()			<input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている。 上記該当あれば………d	
		評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が80%未満……………c	① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする			
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	電気設備工事	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている	
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 関連工事や既存部分との調整がなされ、調和がよい仕上がりにある。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 機器又はシステムとして運転状態が正常であり、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。			<input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている。 上記該当あれば………d	
		評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が80%未満……………c	① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする			
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	機械設備工事	全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適切である	全体的な完成度が劣っている	
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1 きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2 関連工事や既存部分との調整がなされ、調和がよい仕上がりにある。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3 機器又はシステムとして運転状態が正常であり、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4 環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。			<input type="checkbox"/> 出来ばえが劣っている。 上記該当あれば………d	
		評価対象項目の合計のうち 該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が80%未満……………c	① 当該「評定対象項目」のうち、評価対象外の評価項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 × 100 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合は、全て該当してもc評価とする			